

ふじみ野こどもエコクラブ

2023年5月発行
ふじみ野こどもエコクラブ FUJIMINO KODOMO ECO CLUB
責任者:和田淑子
TEL:090-3517-1029

小学生体験

皆既月食観察会

能登原 蓮

皆既月食の夜、私は畑に来て大きな望遠鏡を借り、月を見ました。見始めは普通の満月でした。クレーターなどが大きな望遠鏡ではハッキリ見えていました。5分後、10分後、15分後となると、だんだんうつすらとした赤い色が左下から右上へと月が染まっていきました。そこから20分ほど経った時、半分くらい赤色に染まっていました。その様子を見て私は皆既月食を初めて見たので、こんなにゆつくりゆつくり綺麗に変わっていくんだなあと思いました。そして、月が全て赤色に染まった時、キレイで輝いている赤い満月でした。

皆既月食の月の変化



その月の赤色は地球の影なんだよと、一緒に観察をしていたおじさんが言っていました。私はなるほどと思い、大きな望遠鏡で見る皆既月食の月をわくわくしながら約5分毎にのぞいて見ていたのが楽しかったです。さらに、和田先生がくれた焼き芋を食べた時心が温まって美味しかったです。

クズ狩りとリースづくり

山中淳平

僕は、10月のエコクラブでリースの台を作るためにクズ狩りに行きました。まずは、くぬぎ山に集合して森の中に入っていきましました。冒険みたいでワクワクしました。リースの台を作るには長いクズのつるが必要です。長いつるを探すのが大変でした。長いつるを見つけたら、引っ張ってはさみで切りました。クズはとても生命力のある植物だそうで、他の木に絡まったりして引っ張るのが大変でした。つるの葉をすべて切り落とし、リースの形にして、リース作りの日まで乾かしました。12月、待ちに待ったリース作りに参加しました。シダーローズ・カイジカイブキ



[上]くぬぎ山で [下]リース作り

落ち葉ケーキ作り

佐々木さくら

エコクラブで、落ち葉ケーキを作りました。落ち葉ケーキは、畑のひ料になります。落ち



落ち葉ケーキ作り

などたくさん自然の飾りから好きな飾りを選んで、リースの台の隙間に挟んだりグルーガンでつけて飾り付けをしました。一番気に入った飾りは、スズメウリです。緑色の実が赤色に変わるのが楽しみです。参加したみんなもそれぞれ素敵なおリースが出来ていました。作ったリースを家で飾り、楽しいクリスマスを過ごすことが出来ました。

る。⑨完成!
③のポイントには、取った落ち葉をたてにして箱に入れることです。どうしてかという点、上から足でふんだ時に落ち葉がまとまりやすくなるからです。④のポイントは、足でふむ時に四角い箱の角からふんでいき、さい後に、真ん中をふんでいきます。⑦のポイントは、ひもでこ定する時に力強くしつかりとこ定することです。落ち葉ケーキは自然の素材なので、かんきょうにやさしくて、体にもやさしいひ料になります。

【編集部注】お蔭様で畑で堆肥場に入れて堆肥作りに使わせていただいております

畑と竹林の場所



畑はふじみ野高校グラウンドの東隣です。ふじみ野子どもエコクラブの看板が出ています。大井中学校テニスコート隣の竹林を整備中です。平日も火曜日と金曜日AM畑で作業していますので、お気軽に見学にいらしてください。待ってるよ～

新会員募集

・自然には不思議がいっぱい

・生き物たちと友達になろう

・よりよい自然を未来につなげよう

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
活動日：基本的に毎月第一第三日曜日

活動内容：無農薬で野菜作り、循環型農業を目指しています

竹林の整備作業、竹細工教室もあるよ！筒探りは持ちきれないほど！

リース作りやミニ門松作りも！

市内の自然保全活動、外来種の駆除

その他楽しい活動がたくさん！

大人も子どもも楽しみながら学べる！

年会費 保険料も含め

て千三百円

対象年齢 小学生以上

連絡先 和田淑子

090-3517-1029
連絡お待ちしています！

ウクライナ募金

二度目の募金額が5万円に達しましたので日本ユニセフを通じてウクライナに募金を送りました。ご協力下さった方々には深くお礼申し上げます。

1日も早い終結をお祈りするばかりです。エコクラブで取り組むウクライナ募金は今回を以て終了とします。後は個人で(和田淑子)

年間活動計画

- 4月 所沢おたかの森駒打ち体験
- 5月 サツマイモの苗植え、アレチウリ駆除、田植え
- 6月 福岡小プールでヤゴの救出、筒採り、センドングサ駆除、アレチウリ駆除。環境浄化活動
- 7月 ジャガイモ収穫
- 8月 夏野菜の収穫・堆肥撒き、環境フェア準備
- 9月 稲刈り、種まき、アレチウリ駆除
- 10月 環境フェア準備と出展、サツマイモの収穫
- 11月 野菜の収穫・竹林整備
- 12月 穴掘り、竹林整備、ミニ門松作り
- 1月 所沢おたかの森整備作業、新河岸川でバードウォッチング
- 2月 カルタ会、学習会、竹林整備・竹細工
- 3月 畑草とり・堆肥撒き、ジャガイモ植え、野草クッキングと総会

【コラム】植物の世界も実は「こぎやか」？

トマトを育てるとき、あまり水や肥料をやらないほうが甘いトマトができる。少しつらい環境にしたほうがトマトが、がんばって美味しい実をつける。



これはけっこう有名な話ですが、最近の研究で、ストレスを受けたときトマトは音を出していることがわかりました。とても高い音なので人間には聞こえず、また音の正体もまだ不明ですが、トマトもつらい目にあうと悲鳴を上げているのかもしれない

話は変わって今度は森のキノコです。私たちの目にみえるのは地面の上に出たキノコだけですが、地下には菌糸(きんし)と呼ばれる糸のようなものがビッシリとはりめぐらされています。ある研究によると、キノコどうしはこの網(あみ)を使って「会話」しているらしい、とのこと。もちろん、しゃべっているわけはありませんが、電気信号のやりとりをしているようです。私たちが知らないところで植物やキノコも「会話」している。じつは、植物の世界も、とてもにぎやかなものなのかもしれません。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
ふじみ野子どもエコクラブのホームページは左のQRコードからご覧ください

